

ひだまり

令和5年4月24日発行

こんにちは。スクールカウンセラーの鈴木芳子です。百合丘高校は3年目の勤務となります。これまでは相談日が、月に1・2回でしたが、今年度から週に1回と相談日が倍増しました。このことはとても画期的なことです。何故なら、やっと高校生の心の有り様というものに大人が目を向けて一緒に考えていこうという姿勢が感じられるからです。

いやいや、そんな大人の策略にはまるものかと思う人もいるでしょう。困りごととは自分で解決するという人もいるでしょう。誰かに話したって何の解決にもならないと思っている人もいるでしょう。かつて高校生だった私もそんなふうに使っていた一人でした。そして、人生をどう渡っていったらよいか分からず、かなりもがいていました。今思うと、私自身の問題もあり、家庭や学校といった環境の問題もあり、がんじがらめになっていました。

私は大学での恩師との出会いが、少しずつ心の回復をもたらし、人に対して心を開くということができるようになりました。

心の回復ってどんなこと？心を開くってどうしたらできるの？というようなことに関心がある人は一度相談室を訪れてみて下さい。お待ちしております。

あなたのこころの声を聞きたいニャ



月曜日に来ています。

幸せになりたいワン



木曜日に来ています。

こんにちは。この4月より百合丘高校に勤務させていただくスクールソーシャルワーカー（SSW）の田中京子です。

スクールソーシャルワーカーは福祉の専門家です。福祉？というと身近に感じにくいかもしれませんが、福祉とは「その人らしく幸せに暮らすこと」という意味があります。皆さんが安心して毎日の学校生活を送れるようお手伝いすることがスクールソーシャルワーカーの役目です。友人関係、学校生活での困りごと、家庭のこと、自分自身の不安など、うまく説明できないモヤモヤした状態でもまずは相談室に来てみてください。

相談室は指導でなく伴走のような存在です。答えは一つではなく、また他の人と同じでもありません。ゆっくりお話を伺って一緒に考えていきましょう。必要ならば支援の制度や機関をご紹介しますこともできます。

生徒さんだけでなく保護者の方からのご相談も応じております。どうぞよろしく願いいたします。